



「今」を輝く3月に

春の息吹を感じる3月です。



学校現場は年度末の総括と来年度の準備の中で、自然界の様子さえ見ることが忘れてしまいかねない状況かとお察します。しかし、3月は、新しいことが始まる予感に溢れています。新年度に向けて、新たな学校支援メニューの分野にも目を向けてみてください。

☆今年度の実践より part2☆ (先生・児童・生徒・保護者の感想)

5. 自然・環境分野

<株式会社 LIXIL> 「水から学ぶ」

- ・各班に1名のスタッフがついてくださりありがたかった。すごろくやワークシートを使い子どもにも興味がわく形で学習できた。水に限りがないと思っている子どもたちに、水に対する様々な視点を与えてくださり、その後の学習での視野が広がった。(先生)
- ・食材に隠れた水がすごくたくさんあることを初めて知った。また、私たちの生活にも、外国からの水をたくさんいただいていることに気づくことができた。(小・5年生)

<公益財団法人 滋賀県希望が丘文化公園> 「自然体験プログラム」

- ・非常にわかりやすく説明していただき、子どもも保護者も楽しめる内容で満足した。自然物を使って創造できる驚きがあり、素敵な作品がたくさん生まれた。子どもの意外な一面を見ることができ良かった。親子の絆が深まった。(先生)
- ・簡単にできて、とても楽しかった。作品を玄関に飾りたい。(小・1年生)

<滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖保全再生課、株式会社 Fast Fitness Japan>

「琵琶湖版 SDGs [MLGs] を学ぼう。」 「MLGs 体操で、空調に頼らない体づくりをしよう。」

- ・環境という現代にマッチしたメニューであった。子どもたちには今後に生かしてほしい。元オリンピック選手が考案された体操を、本人と一緒にすることで、子どもたちには十分意味があった。(先生)
- ・MLGs のことがよく分かった。琵琶湖を知ることで、自分たちができることを見つけていきたい。話だけでなく、体を動かして内容を確認できたので、とてもよく分かった。MLGs 体操の歌も、琵琶湖を守る13の目標になっていて、一つひとつ意味があることが分かった。この体操を通じて、私は今まで以上に琵琶湖を大切にしたいと思えたとし、私にできることは身近にたくさんあることに気づくことができた。(小・5年生)



<メタウォーター株式会社> 「水はどこからくる？使った水はどこへ行く？」

- ・パワーポイントで、水の循環の説明をしてもらったので分かりやすかった。また、本校区の水がどのように循環しているのかも調べてくださり、とても身近に感じた。ろ過の実験では、一人ずつ装置を作ることからしたのでその仕組みがとてもよく分かった。(先生)
- ・砂のろ過よりもセラミックのろ過の方が早い。炭は水のおいや汚れを取ることが分かった。これからは、水や洗剤を必要な量だけ使うように心がけたい。(小・児童)

6. 食育分野

<循環型社会創造研究所えこら> 「エコクッキング」

- ・大変丁寧な対応で、授業実施までスムーズに進めることができた。また、講師の方が、お菓子の作り方だけでなくハンガリーの文化や行事まで話をしてくださり、とても興味深い内容で楽しく活動ができた。(先生)
- ・エコを心がけているつもりでも、ペーパータオルを何気なく使ってしまうなど、改めてエコについて考える貴重な体験になった。(保護者)
- ・エコクッキング、とても楽しかったです。火や熱を使わずに簡単に作ることもできたので、また家でも作りたい。(中・2年生)

7. スポーツ・健康分野

＜滋賀県立総合病院 がん相談支援センター＞「病気やがんの予防、がんと共に生きる方への理解」

- ・貴重なお話をしていただき、保健体育の授業内容をさらに深めることができた。(先生)
- ・がんは高齢者になるものだと思っていたが、どの世代でもなることが分かった。がんは、怖い病気だが、対策や薬、手術の方法がたくさんあることが分かった。がんは自分に関係ないと思っていた。親に、たばこをやめたりお酒を控えたりするようにすすめたい。(中・2年生)
- ・「がん＝死」だと思っていたがそうではなかった。また、がんは自分だけの問題ではないと感じた。もし、がんの人がいたらいつも通り接したい。そして助けを求められたらできる限りのことをしてあげたい。日本は、まだ他国に比べてがんに対する意識が低いと思った。(中・3年生)

＜健康づくり財団＞「《がん教育》がんのことをもっと知ろう」

- ・医療分野の内容を、詳しく説明していただき、生徒の理解が深まった(先生)
- ・誰だつてがんになりうるし、自分にも関係があると思った。がんになると、死への恐怖が出てくるが、周りの思いやりを再確認できる。生きるためには生命欲も必要であると感じた。
- ・がんと闘っている人はたくさんいる。がんは、一人で闘うものではなく、みんなで闘うものだと思う。検診も受けていきたい。(中・2年生)

8. 福祉・人権・国際理解分野

＜一般社団法人 滋賀県介護福祉士会＞「介護福祉士のお仕事について」



- ・当日は、高齢者の立場に立って考えられるように、打ち合わせの時よりも多くの体験活動を取り入れていただき、子どもたちも楽しみながら、高齢者(相手)の立場に立って、学習に取り組めた。「『高齢者の立場にたつて、寄り添う』ことが私たちにできること」という言葉が一番心に残った。(先生)
- ・高齢者になったら、どのような体の変化があるのかを知ることができた。認知症の意味や症状、白内障や視野狭窄症の症状について知ることができた。体の筋力が落ちるととても動きにくいことが分かり、足腰が弱い高齢者の方には手助けをしていきたい。(小・5年生)

9. 文化・伝統・芸術分野

＜MIHO MUSEUM＞「文化芸術「鳥獣戯画」を描こう」



- ・「鳥獣戯画」の実物を見ることはめったにできる経験ではなく、教科書の挿絵だけではわからないすばらしさを感じることができた。絵についての理解だけでなく、学芸員さんの仕事や思いも話していただき、キャリア教育としても大変良い学びができた。絵巻にすごい迫力を感じた。(先生)
- ・墨で絵を描いているうちに、絵巻に描かれている動物の心情を想像することができた。墨で描いていくため、手本をととてもよく見ないといけなないので、細部の様子までよく分かった。絵巻はレプリカでも、絵巻の見方や実際の長さも分かり、昔から残っている絵巻のすごさが分かった。実際に描くことで、「もっと知りたい!」、「もっと描きたい!」と思った。楽しかった。(小・6年生)

☆☆☆ 出前授業を実施していただいた学校の先生方には、たくさんのご感想をいただきありがとうございました。すべてを載せきれませんが、ぜひ来年度の参考にしてください。今年度、メルマガをご一読いただきありがとうございました。来年度もより良い授業支援に向けた内容で発行してまいりますので、どうぞよろしくお祈りします。☆☆☆

皆様にとって、今日も明日もいい日になりますように!!
そして、心に残る卒業式や修了式になりますように!

滋賀県学習情報提供システム

におねっと



へは、

または、

におねっと

におねっと二次元コード

クリック!!

* 「にお」=鳩=かいつぶり

